

Kansai Economic Insight Monthly

2015/4/24

Vol.24 February/March

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly”

は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第二週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、林万平・木下祐輔・James Brady（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	13
Release Calendar	14

要 旨

- ✓ 2月の鉱工業生産指数は3カ月ぶりに下落した。1-2月平均を10-12月平均と比較すれば+5.0%と基調は堅調。
- ✓ 3月の貿易は、輸出は25カ月連続で前年比増加、輸入は2カ月ぶりに減少。結果、貿易収支は3カ月ぶりの黒字となり2011年3月以来の2,000億円超となった。
- ✓ 3月の消費者態度指数及び景気ウォッチャー現状判断DIはいずれも4カ月連続で改善。インバウンド関連の好調が続いており、消費者心理は改善している。
- ✓ 12月の現金給与総額の伸びは前月から加速。1月(関西コア)はプラスを維持したものの、前月から大幅低下。賃金は上昇基調が続いているものの、先行き判断は4月を待つ必要がある。
- ✓ 2月の大型小売店の販売額は8カ月連続の前年比プラスとなったが、消費の回復は弱い。
- ✓ 2月の新設住宅着工戸数は6カ月連続の前年比マイナス。持家と貸家は減少したが、分譲は6カ月ぶりのプラスとなった。
- ✓ 2月の有効求人倍率は、3カ月連続で前月比横ばい。一方、失業率は非労働力人口の増加により、小幅低下となった。
- ✓ 3月の公共工事請負金額は前年比-14.9%と5カ月連続の大幅減。公共工事受注は停滞している。
- ✓ 2月の建設工事は前年比-0.2%と34カ月ぶりの減少。建設工事の伸びは停滞している。
- ✓ 3月の関空への訪日外客数は春節の影響もあり、中国を中心に大幅な増加となった。一方、出国日本人数は15カ月連続の減少となった。
- ✓ 1-3月期の中国実質GDP成長率は前年同期比+7.0%となり、前期より減速した。市場コンセンサスを上回る結果であったが、8%を下回る成長が12期続いている。

【関西経済のトレンド】

	2014年										2015年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生産	↘	↗	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↘	
貿易	↘	↗	➡	↘	↗	➡	➡	↗	➡	↗	↗	↘	↗
センチメント	↘	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	↗
消費	↗	↘	➡	➡	➡	↗	↗	↗	↗	↗	➡	↗	
住宅	➡	↗	↘	➡	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↘	
雇用	➡	➡	↗	➡	➡	➡	➡	↗	↗	↗	➡	➡	
公共工事	↘	↗	↗	➡	➡	➡	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘
中国	➡	➡	➡	↗	↗	↘	↗	➡	↘	↘	↘	➡	↘

【鉱工業生産動向】

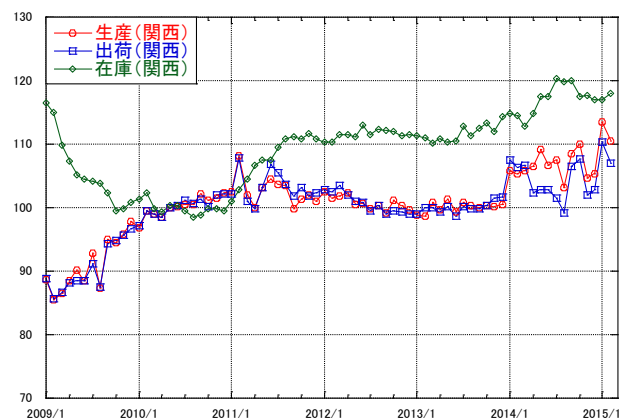
(1) 関西の生産動向

2月の鉱工業指数(速報値：季節調整済)を見ると、生産は110.5で前月比-2.7%、出荷は107.0で同-3.1%といずれも3カ月ぶりの下落。在庫は118.0で同+0.8%と前月の横ばいから2カ月ぶりの上昇となった。

業種別に生産指数をみると、電子部品・デバイス(同-10.0%)、はん用・生産用・業務用機械(同-3.4%)、電気機械(同-5.3%)等を中心に減産となった。一方、その他(同+2.9%)、プラスチック製品(同+1.6%)等が上昇した。

生産は前月から一転、マイナスとなったものの、1-2月平均を10-12月期平均と比較すれば、+5.0%と堅調な伸びとなっている。2月は実質輸出が下落したため、生産指数も低下した。

鉱工業指数の推移(関西：2015年2月まで、平成22年=100)

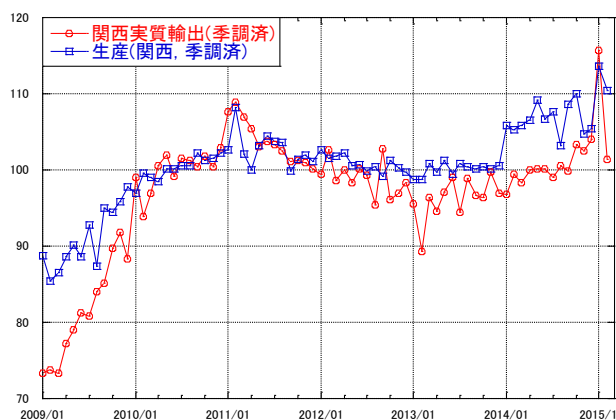


(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

関西の実質輸出と鉱工業生産指数の推移

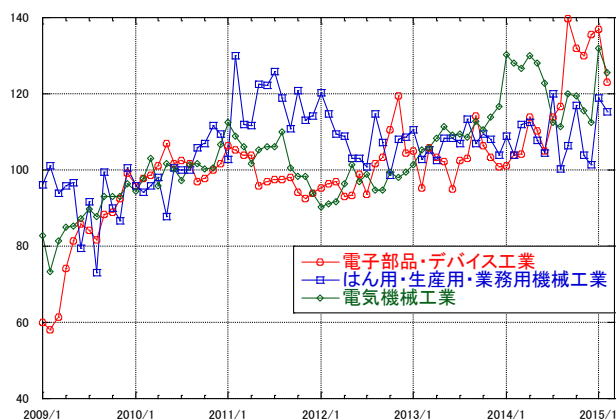
(2015年2月まで、季調済、平成22年=100)



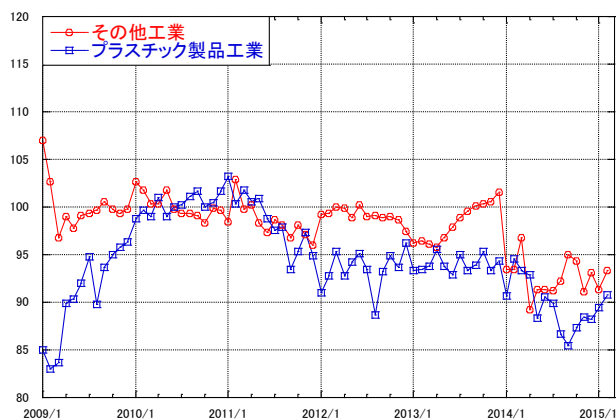
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」、日本銀行大阪支店

業種別生産指数の推移(関西：2015年2月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移(続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

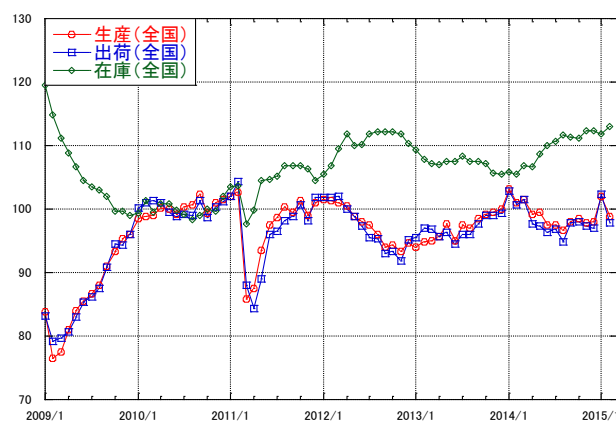
(2) 全国の生産動向

全国における2月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は98.9となり前月比-3.1%と3カ月ぶりの低下、出荷は97.9で同-4.4%と2カ月ぶりの下落となった。在庫は113.0で同+1.1%と3カ月ぶりの上昇となった。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(同-5.5%)、電子部品・デバイス(同-7.9%)、電気機械(同-5.7%)等を中心に減産となった。一方、石油・石炭製品(同+2.7%)、パルプ・紙・紙加工品(同+0.7%)、その他(同+0.2%)は増産となった。

製造工業生産予測調査で2月は小幅増産(同+0.2%)となっていたが、結果は減産となった。ただし、1-2月平均を10-12月期平均と比較すれば、+2.4%と高い水準となっている。

鉱工業指数の推移(全国：2015年2月まで、平成22年=100)



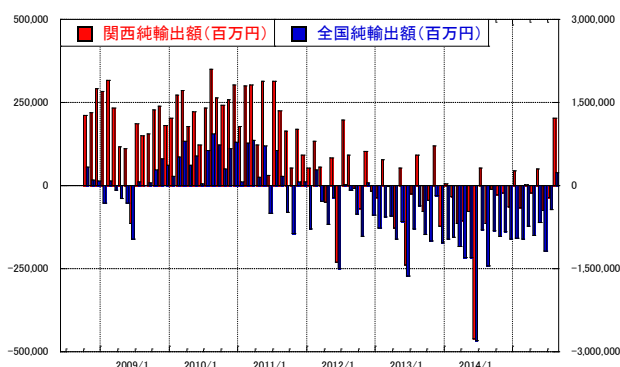
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、3月関西の貿易収支は+2,032億円と3カ月ぶりの黒字となり、2011年3月以来の2,000億円超となった。前年同月から3,159億円改善。全国の貿易収支(速報値)は+2,293億円と33カ月ぶりの黒字となり、前年同月から1兆6,794億円改善した。なお、2014年度の貿易収支は、関西で-271億円と3年連続で赤字となった。全国では、-9兆1,343億円と4年連続の赤字であった。

関西純輸出(左軸: 100 万円)・全国純輸出(右軸: 100 万円)推移
(2015 年 3 月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

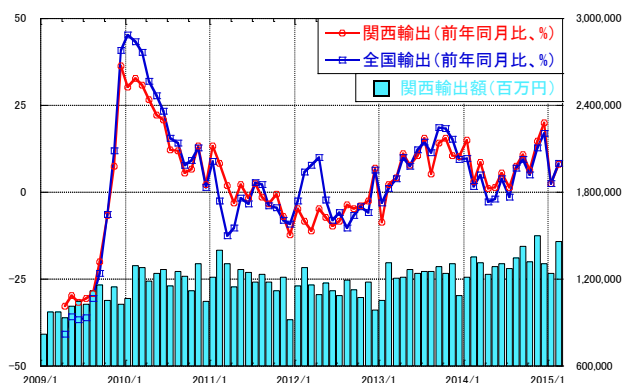
(2) 輸出

関西 3 月の輸出額(速報値)は 1 兆 4,592 億円。前年同月比 +7.9%と 25 カ月連続の増加。財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、半導体等電子部品、建設用・鉱山用機械であった。一方、鉱物性燃料、有機化合物は減少となった。

全国 3 月の輸出額(速報値)は 6 兆 9,274 億円となり、前年同月比+8.5%と 7 カ月連続の増加。財別に見れば、自動車、半導体等電子部品、金属加工機械等の輸出が増加した。一方、鉱物性燃料は減少となった。

なお、足下、為替レート(税関長公示レートベース)は 119.86 円と前年同月比-17.2%の円安であった。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2015 年 3 月まで)



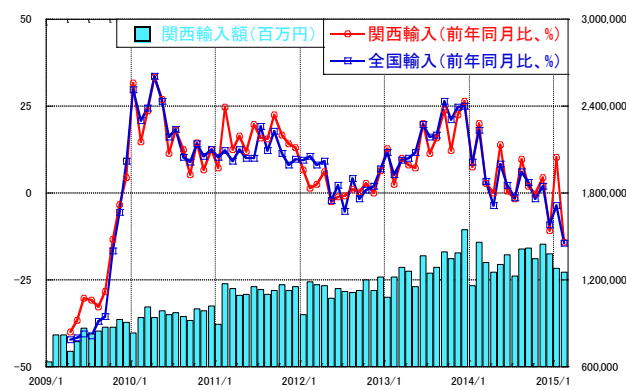
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西 3 月の輸入額(速報値)は 1 兆 2,560 億円、伸びは前年同月比-14.2%と 2 カ月ぶりの減少。財別に見れば、原油及び粗油、通信機等が減少した。半導体等製造装置(単月過去最高額)、無機化合物は増加した。

全国 3 月の輸入額(速報値)は 6 兆 6,981 億円、前年同月比-14.5%と 3 カ月連続の減少。財別に見れば、原油、石油製品、液化天然ガス等の輸入が減少した。なお、輸入額に対する原油の寄与度は関西-6.6%、全国-9.6%であった。

輸入(右、100 万円)・前年同月比(左、%)推移(2015 年 3 月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西 3 月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+2,779 億円となり 14 カ月連続の黒字であった。黒字幅は前年同月比+360.1%増加した。輸出は 7 カ月連続で増加した(同+7.2%)。財別に見れば、半導体等電子部品、通信機等が増加した。輸入は 2 カ月ぶりのマイナス(同-18.2%)。財別に見ると、天然ガス及び製造ガス、通信機等が減少した。

うち、対中貿易収支は-54 億円と 37 カ月連続の赤字。赤字幅は 2 カ月ぶりに前年同月から縮小した(前年比-96.7%)。輸出は 2 カ月ぶりの増加(同+13.1%)。一方、輸入は 2 カ月ぶりの減少(同-25.6%)であった。

対米貿易収支は+905 億円と黒字基調が続いており、黒字幅は 7 カ月連続で前年から拡大した(同+63.9%)。うち、輸出は 10 カ月連続の増加(同+33.8%)。財別に見れば、建設用・鉱山用機械、電池等が増加した。輸入は 2 カ月連続の増加(同

+17.4%)であり、財別に見れば、無機化合物、半導体等製造装置等が増加した。

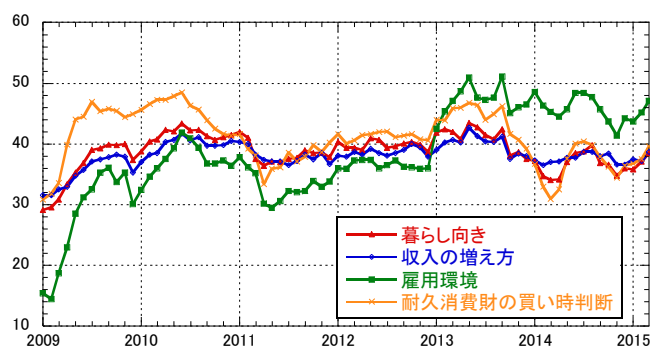
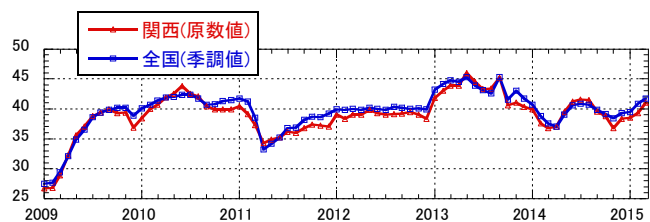
対 EU 貿易収支は+143 億円と 5 カ月連続の黒字となり、前年から 273 億円改善した。うち、輸出は 6 カ月連続の増加(同+10.8%)。財別に見れば、船舶、自転車及び同部分品等が増加した。輸入は 2 カ月ぶりの減少(同-9.1%)。財別に見れば、たばこ、半導体等製造装置等が減少した。

【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西の 3 月の消費者態度指数(原数値)は前月比+1.7 ポイントの 41.0 と、4 カ月連続の改善。全国(季節調整値)でも同+0.8 ポイントの 41.7 と 4 カ月連続で改善しており、2013 年 12 月以来の水準となった。内閣府も消費者心理の基調判断を上方修正するなど、消費者心理は改善している。

消費者態度指数(2015 年 3 月まで)



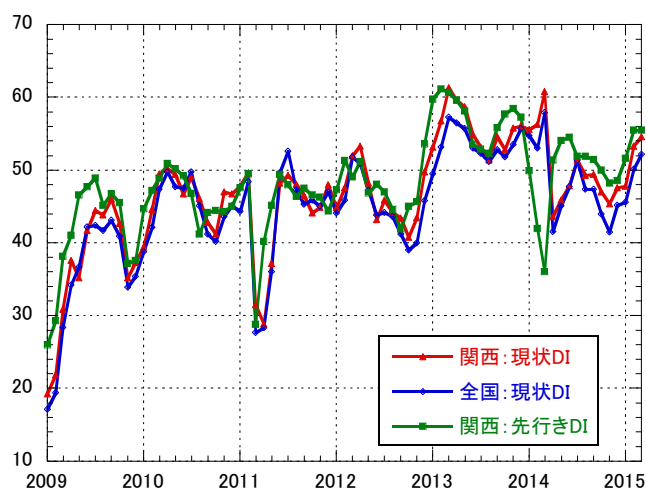
(出所) 内閣府 「消費動向調査」

関西で同指数の構成項目をみると、3 月は全ての項目が前月から改善した。「耐久消費財の買い時判断」は同+2.1 ポイントと 4 カ月連続で改善。「雇用環境」も同+1.9 ポイントと 2 カ月連続の改善。「暮らし向き」が同+1.5 ポイントと 2 カ月連続で改善。「収入の増え方」は同+1.5 ポイントと 2 カ月ぶりに改善した。

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の 3 月の現状判断 DI は前月比+1.3 ポイント上昇し 54.6 となった。4 カ月連続の改善で、横ばいを示す 50 を 2 カ月連続で上回った。インバウンド関連の好調が続くなかで、百貨店やホテル関連を中心に好調が続いたことが寄与した。全国も同+2.1 ポイントと 4 カ月連続で改善し 52.2 となった。

景気ウォッチャー調査(2015 年 3 月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

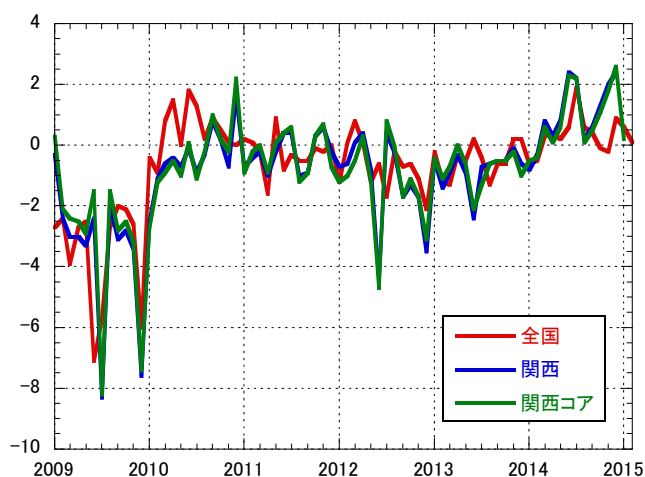
先行き判断 DI は、関西では 55.5 と前月比横ばい。インバウンド関連の好調が続き、賃上げによるプラス効果が期待される一方で、物価上昇を懸念する声も依然として多く、先行きは不透明。全国は同+0.2 ポイント小幅上昇の 53.4 となり、4 カ月連続の改善。

【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

12 月の関西 2 府 4 県の現金給与総額(APIR 推計)は 55 万 6,183 円で前年同月比+2.4%と 10 カ月連続のプラスとなり、前月(同+2.0%)から伸びが加速した。中でも年末賞与増加により、特別給与が伸びた府県が多かった。府県別では京都府で同+6.1%と最も伸びが大きかった。次いで、大阪府では同+2.8%と前月(+1.4%)から伸びが加速。その他、滋賀県同+2.7%、和歌山県同+2.2%、兵庫県同+0.4%となった。一方、奈良県は同-1.5%と 10 カ月ぶりのマイナスであった。

現金給与総額(前年同月比：％、2015年2月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」(4月17日公表)

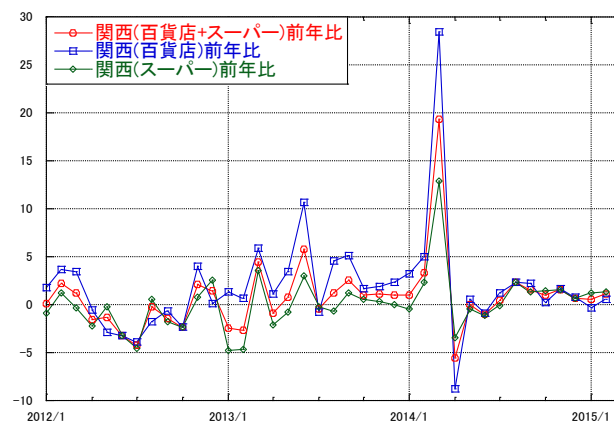
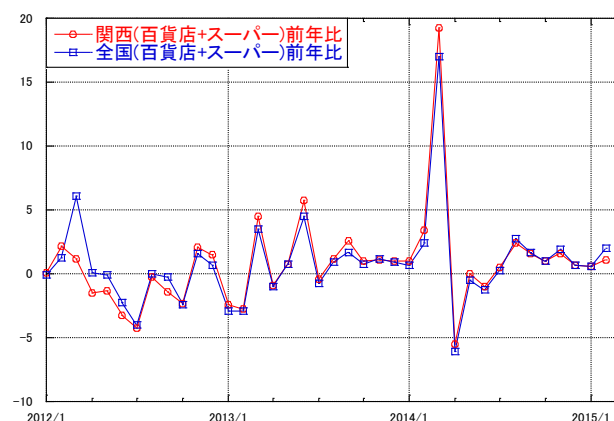
京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR推計)は、1月に前年同月比+0.2%と11カ月連続でプラスを維持したものの、前月(同+2.6%)から伸びは大幅に低下。産業別では、建設業で上昇したものの卸売業・小売業で大幅に悪化した。賃金は上昇基調が続いているものの、先行き判断は4月を待つ必要がある。

全国(確報値)の現金給与総額は、2月は前年同月比+0.1%と3カ月連続のプラスとなったものの、伸びは低下した。内訳をみると、所定内給与は同+0.0%と前月(同+0.2%)から2カ月ぶりに伸びが止まった。所定外給与は同+0.5%と前月(同+2.1%)から大幅な下落。特別給与は同+5.7%と前月(+7.6%)から減速したが、高水準を維持。なお、今月から過去の値が遡及改訂されており、2014年の現金給与総額は前年比+0.4%(改訂前同+0.8%)と下方修正された。現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同-2.3%と22カ月連続で低下しており、前月から横ばいとなった。

(2) 大型小売店販売額

関西の2月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+1.1%と8カ月連続のプラス。百貨店は同+0.6%と2カ月ぶりのプラス。スーパーは同+1.3%と7カ月連続のプラス。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2015年2月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

全国でも、2月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+2.0%と8カ月連続のプラスとなっている。関西、全国ともに消費の回復は弱い。

(3) 新設住宅着工の動向

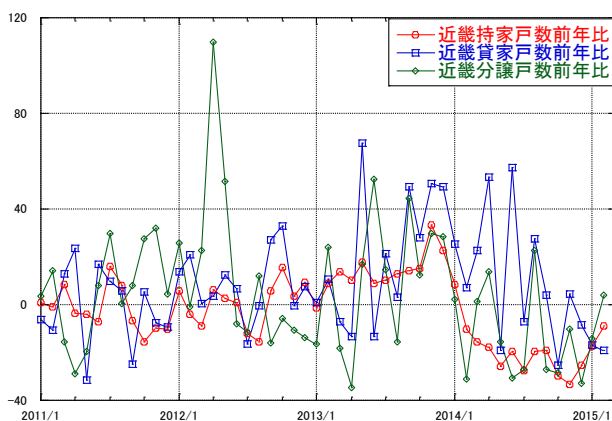
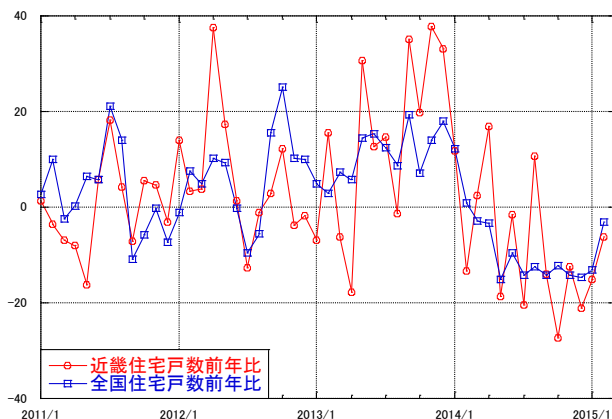
関西の2月の新設住宅着工戸数は9,002戸。前年同月比-6.2%と6カ月連続のマイナス。全国でも同-3.1%と12カ月連続のマイナス。ただし、関西、全国共に減少幅は1桁となった。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は同-8.7%と13カ月連続のマイナスとなっている。分譲は同+4.1%と6カ月ぶりのプラス。貸家は同-19.0%と3カ月連続で減少。

2月の関西マンション契約率は70.4%(季節調整値、APIR推計)となった。好不調の目安となる70%を2カ月ぶりに回

復した。原数値をみると、関西では72.7%と2カ月ぶりに70を回復した。

新設住宅着工(前年同月比：％、2015年2月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

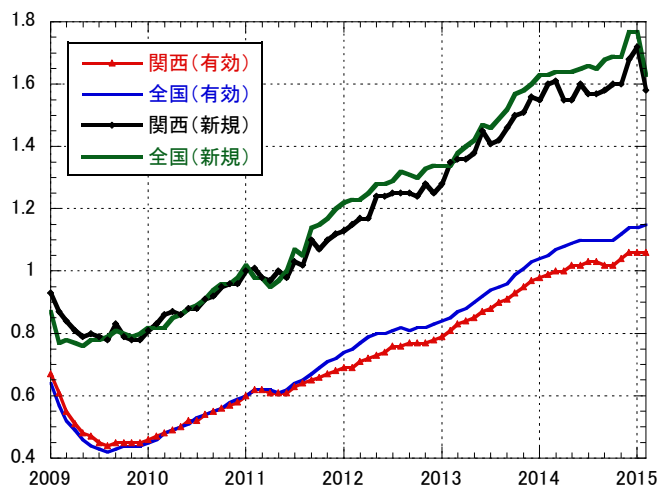
(1) 求人倍率の動向

2月の関西の有効求人倍率は、1.06倍と3カ月連続で前月比横ばいとなった。全国は1.15倍と前月から+0.01ポイント上昇し、7カ月ぶりの改善。雇用情勢は好調を維持。

府県別(受理地別)にみると、和歌山県で-0.02ポイント低下し、2カ月ぶりに1倍台を下回った。

2月の関西の新規求人倍率は、1.58倍と前月比-0.14ポイントと大幅に低下し、2014年7月以来7カ月ぶりの低下。卸・小売、医療・福祉で新規求人数が増加したものの、製造業、宿泊業・飲食サービス業で減少した。全国は1.63倍と前月比-0.14ポイントと2014年8月以来6カ月ぶりの低下。

有効求人倍率の推移(季節調整値、2015年2月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況(平成27年3月27日発表)」

関西2府4県有効求人倍率(2015年2月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
2月	1.15	1.06	1.00	1.09	1.15	0.94	0.88	0.98
1月	1.14	1.06	1.00	1.11	1.15	0.95	0.90	1.00

(2) 完全失業率の推移

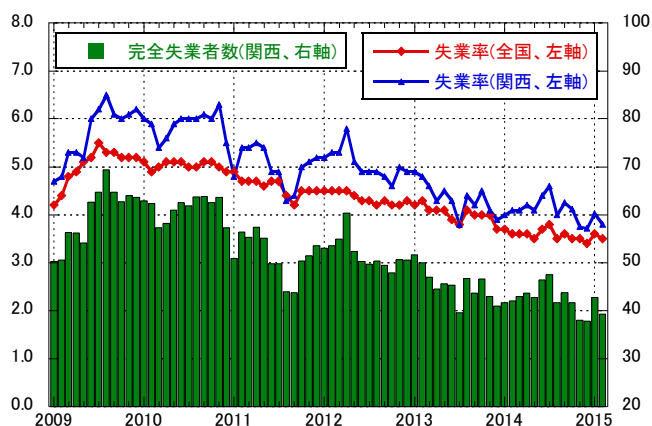
2月の関西の完全失業率(季節調整値：APIR 推計)は3.8%で前月(4.0%)から-0.2%ポイント低下し、2カ月ぶりの改善となった。非労働力人口が増加したことが失業率を押し下げた。

関西の完全失業者数(季節調整値：APIR 推計)は39.3万人で前月(42.7万人)から-3.4万人減少した。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.5%となり、前月(3.6%)から-0.1%ポイント低下。理由別にみると、非自発的な離職・自発的な離職がともに減少し、新たに求職する人が減少(非労働力人口の増加)したことによる。

全国の15～64歳の就業率(原数値ベース)をみると、72.7%と前月(72.5%)と比べて幾分上昇した。性別では、女性の就業率は63.7%と前月(63.5%)と比べて上昇しており、好調が続いている。

完全失業率の推移（季節調整値：％、万人、2015年2月まで）



（出所）総務省「労働力調査」（平成27年3月27日発表）

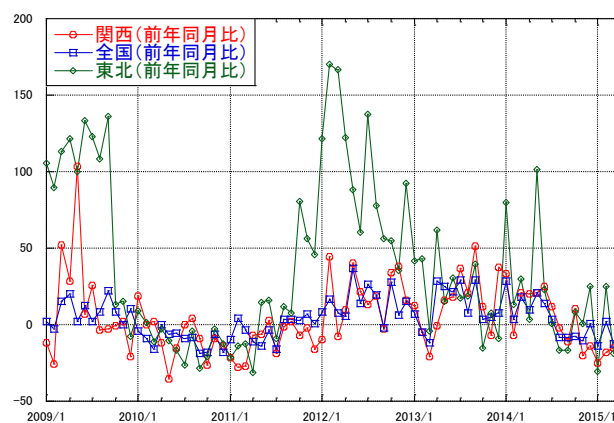
【公共投資】

（1）公共工事請負金額

関西3月の公共工事請負金額は1,124億円で前年同月比-14.9%と5カ月連続の大幅マイナスとなった。全国は1兆2,755億円で同-12.4%と2カ月ぶりの減少。東北は2,587億円で同-18.5%と2カ月ぶりの大幅減少となった。公共工事受注は停滞している。なお、関西の2014年度の公共工事受注は前年比+1.0%と3年連続のプラスであったが、全国は-0.3%と3年ぶりのマイナス。

季節調整値(APIR推計)で見ると、関西、全国共に3カ月連続で前月から減少となった(関西：同-7.9%、全国：同-21.8%)。結果、1-3月期の公共工事請負金額は全国が前期比-2.9%、関西は同-24.0%といずれも3期連続の減少となったが、関西の落ち込み幅は前期より拡大した。

公共工事請負金額(前年同月比：％、2015年3月まで)

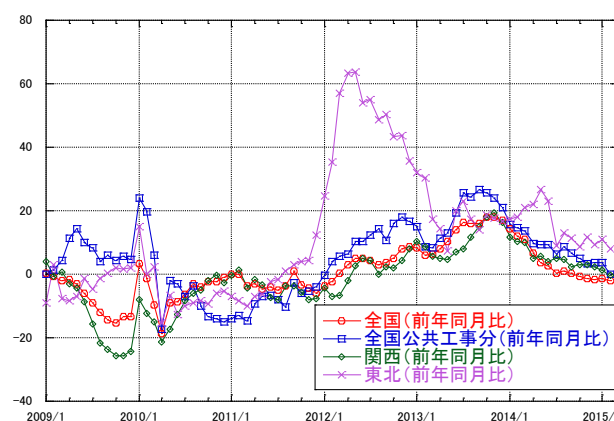


（出所）東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

（2）建設工事

関西2月の建設工事は5,841億円、前年同月比-0.2%と34カ月ぶりの減少となった。東北は5,909億円、同+8.1%と43カ月連続の増加。全国は4兆5,103億円となり、同-2.1%と5カ月連続の減少。うち、全国の公共工事は2兆1,274億円で同+0.2%と37カ月連続の増加も、伸びは11カ月連続で1桁にとどまった。建設工事の伸びは停滞している。

建設工事(前年同月比：％、2015年2月まで)



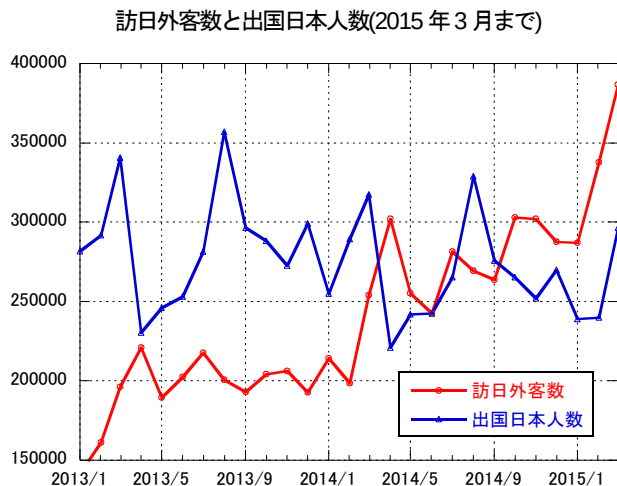
（出所）国土交通省「建設総合統計」

【関空モニター】

（1）訪日外客数トレンド

関空への訪日外客数の大幅な伸びが続いている。3月の訪日外客数は386,660人、前年同月比+52.3%と26カ月連続の

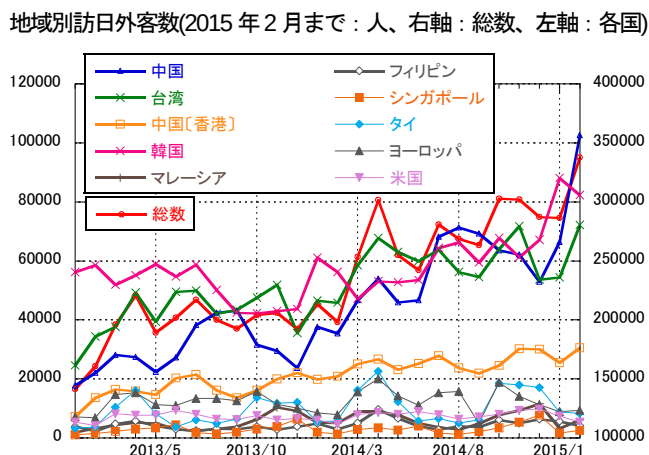
増加となり、前月(同+70.1%)に引き続き大幅な伸びとなった。一方、出国日本人数は296,660人(同-6.6%)と、15カ月連続の減少となった。



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

(2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、2月は中国(香港を除く)からの入国者数が102,718人(前年同月比+189.5%)と最も多かった。次いで、韓国が82,418人(同+46.5%)、台湾が72,224人(同+57.7%)、中国(香港)が30,481人(同+46.2%)となった。春節の影響もあり、中国からの訪日外客数は前月(同+76.4%)と比較して大幅に伸びた。



(出所) 法務省「出入国管理統計」

他のアジア各国からの入国者数は、タイから8,354人(同

+44.7%)で5カ月連続の大幅プラス。フィリピンからは4,088人(同+37.4%)、マレーシアからは6,090人(同+22.0%)、シンガポールからは2,509人(同+82.6%)となり、いずれも伸びは大幅なプラスとなった。

他地域を見ると、ヨーロッパからは9,372人(同+20.2%)と5カ月連続のプラス、米国からは5,296人(同+16.9%)と6カ月連続のプラスであった。

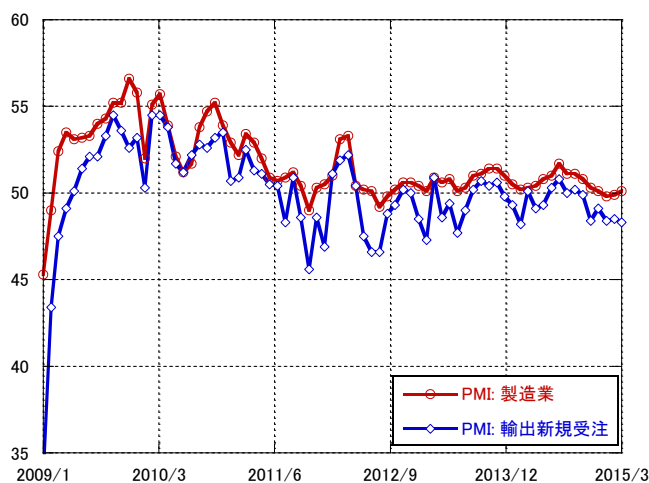
【中国景気モニター】

(1) センチメント

3月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、50.1となり、前月から+0.2ポイント上昇し、2カ月連続の改善。3月ぶりに50を上回った。

うち、生産指数は52.1と同+0.7ポイント上昇し、6カ月ぶりの改善。新規受注指数は50.2となり、同-0.2ポイント低下し、2カ月ぶりの悪化となった。輸出新規受注指数は同-0.2ポイント低下し、48.3となり、6カ月連続で50を下回った。加えて、雇用指数は48.4となり、前月から+0.6ポイント上昇し、5カ月ぶりのプラスとなった。2012年6月以来、34カ月連続で50を下回っている。

中国製造業購買担当者景況指数(2015年3月まで：%)



(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

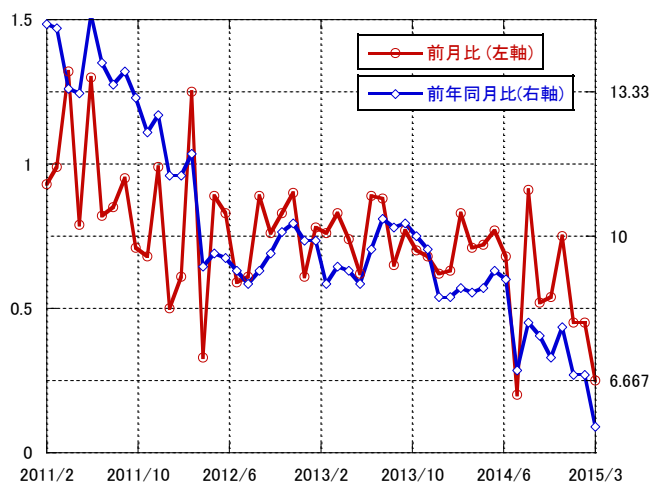
(2) 工業生産

3月の工業生産は、前月比+0.3%と、前月から-0.2ポイント低下した。12月(+0.8%)は幾分回復したが、減速が続いて

いる。前年同月比は+5.6%となり、前月から-1.2 ポイント低下した。12 月から減速が続いている。

産業別に見ると、鉄道・輸送機器製造業(同+15.5%)、パソコン・通信設備製造業(同+12.3%)、医薬製造業(同+11.4%)が高い伸びを示す一方で、通用設備製造業(同+2.4%)、専用設備製造業(同-0.2%)、電力・熱力生産・供給業(同-2.6%)等は比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2015 年 3 月まで : %)



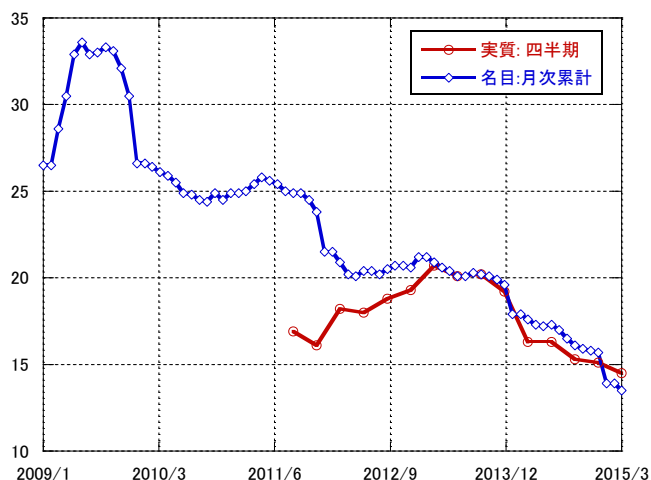
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(3) 固定資産投資

2015 年 1-3 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+13.5%となった。9 カ月連続で減速している(1-2 月期 : 同+13.9%)。

産業別に見れば、第 1 次産業は同+32.8% (1-2 月+36.3%)、第 2 次産業は同+11.0%(1-2 月+11.5%)、第 3 次産業は同+14.7%(1-2 月+14.8%)となった。

固定資産投資 (2015 年 3 月まで : %) (累積伸び率)

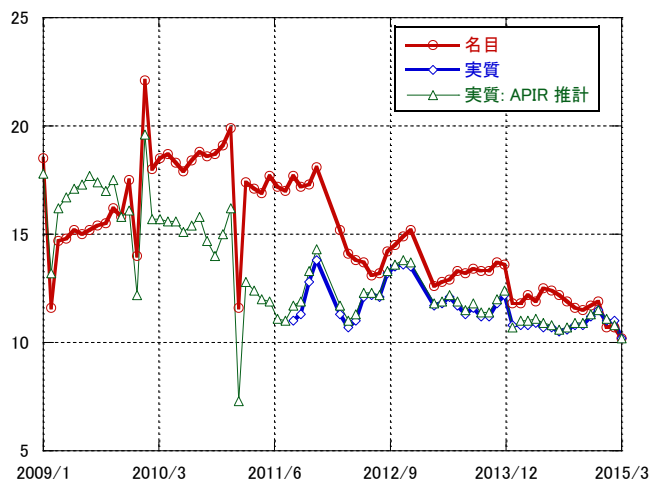


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 消費

3 月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+10.2%となり、前月(同+10.7%)から小幅に減少した。消費は中国经济成長のエンジンと期待されているが、2015 年に入り、減速が続いている。

社会消費品小売総額 (2015 年 3 月まで : %)



(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 貿易動向

3 月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比-15.0%減少し、前月(同+48.3%)よりマイナスに転じた。輸

入額は同-12.9%(速報値)となり、5 カ月連続のマイナスとなった。

うち日本への輸出額は同-24.8%となり、前月(同+23.6%)より伸びはマイナスに転じた。日本からの輸入額は同-5.5%となり、5 カ月連続のマイナスとなった。

円ベースに換算すると、日本への輸出額は同-11.5%となり、前月よりマイナスに転じた。日本からの輸入額は同+11.2%となり、3 カ月連続のマイナスとなった。

日本との貿易 (前年同月比：円ベース) (2015 年 3 月まで：%)

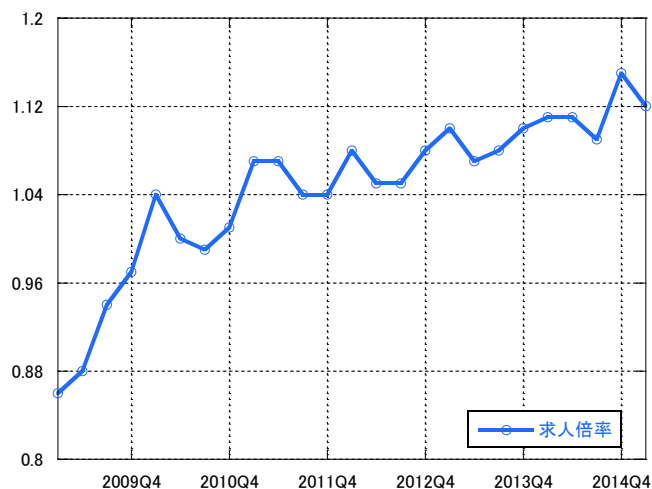


(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(6) 求人倍率

1-3 月期の有効求人倍率は 1.12 となり、10-12 月期(1.15)より小幅低下した。求人倍率を地域別に見ると、東部は 1.09 (10-12 月期 1.14)、中部は 1.14 (同 1.15)、西部は 1.16 (同 1.17)となっている。西部の労働需給は相対的に逼迫している。

求人求職倍率 (2015 年 1-3 月期まで)



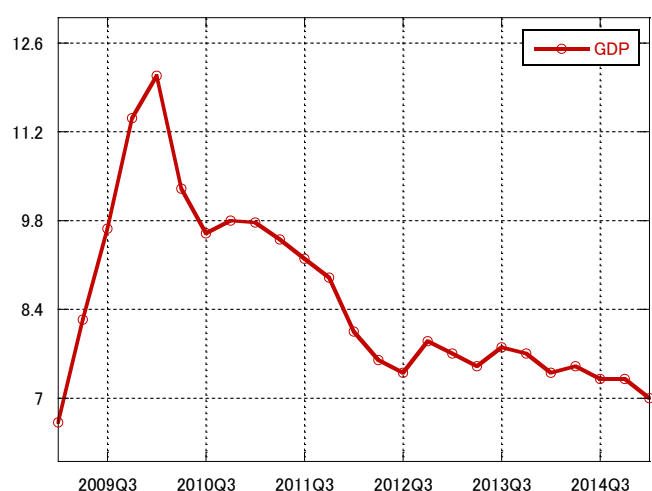
(出所) 中国労働市場情報観測センター; CEIC データベース; APIR 計算

(7) GDP

2015 年 1-3 月期の実質 GDP 成長率は前年同期比+7.0%となり、前期より減速した。市場コンセンサスを上回る結果であった。しかし 8%を下回る成長率が 12 期続いている。2009 年以降の低い値となった。

業種別にみると、第 1 次産業の成長率は同+3.2%、第 2 次産業は同+6.4%、第 3 次産業は同+7.9%となった。すべて悪化した。

中国の GDP 成長率(前年同期比) (2015 年 1-3 月期まで：%)

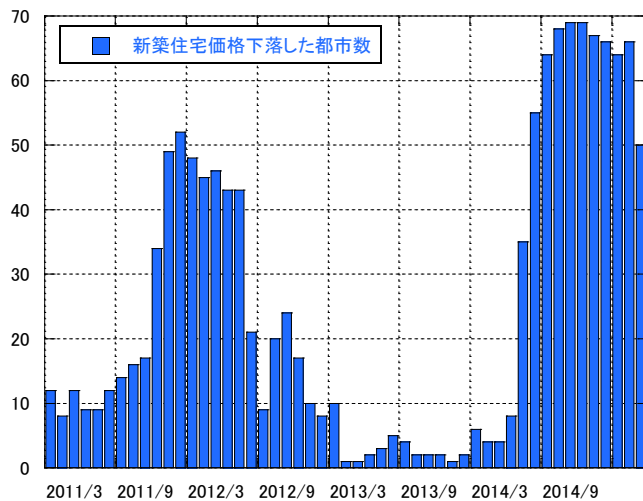


(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

（８）不動産市場

不動産価格を見ると、中国主要 70 都市のうち、3 月は 50 都市の新築住宅価格が前月に比べて下落した。8 都市の新築住宅価格が前月に比べて上がった。12 都市が横ばい。下落した都市の数は 2 月の 66 都市より減少した。

新築住宅価格の主要都市集計 (2015 年 3 月まで : 都市数)



（出所）中国国家统计局; CEIC データベース

Contact: 林万平・木下祐輔・James Brady

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	14/03M	14/04M	14/05M	14/06M	14/07M	14/08M	14/09M	14/10M	14/11M	14/12M	15/01M	15/02M	15/03M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	60.8	43.6	45.9	47.9	51.4	49.3	49.4	47.0	45.4	47.6	47.8	53.3	54.6
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	60.1	40.4	43.1	46.8	50.3	49.9	50.2	45.9	43.2	48.2	47.4	52.3	54.1
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	36.0	51.4	54.1	54.5	51.9	51.9	51.5	50.0	48.2	48.6	51.6	55.5	55.5
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	57.9	41.6	45.1	47.7	51.3	47.4	47.4	44.0	41.5	45.2	45.6	50.1	52.2
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	57.0	37.2	42.1	45.1	49.4	45.8	46.7	42.3	39.5	44.2	43.9	48.4	50.9
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	34.7	50.3	53.8	53.3	51.5	50.4	48.7	46.6	44.0	46.7	50.0	53.2	53.4
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	36.8	37.1	39.5	41.2	41.6	41.5	38.6	38.8	36.8	38.3	38.5	39.3	41.0
[関西]「暮らし向き」(原数値)	34.1	34.2	37.0	38.5	38.8	39.8	36.9	36.6	34.8	36.0	35.8	37.1	38.5
[関西]「収入の増え方」(原数値)	37.0	37.1	37.7	37.7	38.7	38.7	38.0	38.4	36.6	36.6	37.5	37.2	38.7
[関西]「雇用環境」(原数値)	45.3	44.5	45.7	48.4	48.4	47.7	45.7	43.7	41.4	44.2	43.7	45.2	47.1
[関西]「耐久消費財の買い時判断」(原数値)	31.0	32.5	37.6	40.1	40.4	39.8	37.9	36.3	34.4	36.4	36.8	37.6	39.6
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	37.6	37.0	39.0	40.6	40.9	40.7	39.8	39.1	38.4	39.3	39.5	40.9	41.7
[関西]乗用車新規登録届出数(前年同月比%)	20.4	-8.9	-2.5	-1.8	-1.4	-9.2	0.0	-5.9	-9.5	-0.4	-18.8	-16.9	UN
[関西]家電販売額(前年同月比%)	68.6	-18.4	-13.2	-12.3	-3.3	-10.7	-12.1	-11.0	-4.5	-12.3	-18.9	-26.7	UN
[関西]大型小売店販売額(10億円)	377.8	281.1	303.7	314.0	335.1	311.0	294.1	308.1	335.1	419.0	335.0	289.7	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	19.3	-5.5	0.0	-1.0	0.5	2.4	1.6	1.0	1.6	0.7	0.6	1.1	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1956.2	1467.7	1592.4	1631.7	1717.4	1626.3	1531.3	1606.5	1728.6	2155.4	1722.7	1498.6	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	17.0	-6.1	-0.5	-1.2	0.3	2.8	1.7	1.0	1.9	0.7	0.6	2.0	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	11170.0	12424.0	10095.0	12018.0	10038.0	12764.0	11707.0	10816.0	12192.0	11625.0	9605.0	9002.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	2.5	16.9	-18.6	-1.6	-20.5	10.6	-14.0	-27.3	-12.5	-21.1	-15.0	-6.2	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	69411.0	75286.0	67791.0	75757.0	72880.0	73771.0	75882.0	79171.0	78364.0	76416.0	67713.0	67552.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	-2.9	-3.3	-15.0	-9.5	-14.1	-12.5	-14.3	-12.3	-14.3	-14.7	-13.0	-3.1	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	75.4	73.7	80.0	73.4	73.6	71.8	78.4	73.4	81.6	75.6	79.3	69.9	72.7
[関西]マンション契約率(原数値)	77.8	74.3	85.3	76.4	77.1	71.7	76.9	74.1	80.9	73.0	70.9	67.1	70.4
[全国]マンション契約率(季節調整値)	76.4	74.1	77.5	73.9	83.5	71.9	71.5	65.2	79.0	70.3	69.5	74.5	79.6
[全国]マンション契約率(原数値)	79.8	74.7	78.9	76.6	83.7	69.6	71.6	63.3	78.4	71.0	74.9	74.5	75.2
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	132.2	187.0	173.7	188.3	164.5	116.7	148.5	150.4	88.9	97.2	70.6	64.4	112.4
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	20.8	20.3	21.1	25.0	12.2	-2.0	-11.3	10.8	-20.0	-13.7	-25.1	-18.3	-14.9
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1456.8	1758.3	1312.6	1585.5	1627.3	1127.6	1398.4	1316.1	843.7	894.4	670.8	712.2	1275.5
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	18.1	10.0	21.1	14.3	3.5	-8.1	-8.2	-7.4	-10.4	1.0	-13.7	2.3	-12.4
[関西]建設工事(総合、10億円)	567.9	442.4	450.5	462.1	475.6	506.1	534.1	556.5	587.8	609.6	600.8	584.1	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	10.1	4.9	5.7	4.2	4.9	4.8	2.3	3.0	3.2	2.4	1.4	-0.2	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4551.9	3512.0	3435.2	3634.4	3738.2	4030.9	4333.2	4522.6	4714.6	4834.6	4611.0	4510.3	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	10.9	6.6	3.7	2.8	0.5	1.2	0.3	-0.6	-1.4	-1.7	-1.3	-2.1	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	2124.6	1378.3	1301.1	1410.8	1485.5	1703.7	1933.3	2098.8	2247.4	2344.3	2188.1	2127.4	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	13.8	9.7	9.4	9.4	6.3	8.7	6.7	5.1	3.5	3.7	3.6	0.2	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	105.9	106.5	109.2	106.7	107.6	103.2	108.6	110.0	104.7	105.4	113.6	110.5	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.6	0.6	2.5	-2.3	0.8	-4.1	5.2	1.3	-4.8	0.7	7.8	-2.7	UN
[関西]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	6.7	3.0	1.5	5.5	1.3	-1.7	7.9	7.2	-1.8	2.1	0.8	0.7	UN
[関西]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	2.4	3.7	6.4	6.4	6.7	7.7	6.6	3.7	5.1	1.7	1.1	3.1	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	106.7	102.4	102.8	102.9	101.6	99.2	106.5	107.7	102.1	102.9	110.4	107.0	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	0.4	-4.0	0.4	0.1	-1.3	-2.4	7.4	1.1	-5.2	0.8	7.3	-3.1	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	112.8	114.9	117.5	117.6	120.4	119.8	120.0	117.6	117.7	117.1	117.1	118.0	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	-1.5	1.9	2.3	0.1	2.4	-0.5	0.2	-2.0	0.1	-0.5	0.0	0.8	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	101.5	99.2	99.5	97.6	97.5	96.7	98.1	98.5	97.9	98.1	102.1	98.9	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.5	-2.3	0.3	-1.9	-0.1	-0.8	1.4	0.4	-0.6	0.2	4.1	-3.1	UN
[全国]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	6.5	1.9	-1.1	1.9	-0.5	-4.1	1.7	-0.6	-4.8	-0.1	-2.1	-2.9	UN
[全国]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	-1.2	-1.5	1.1	3.1	3.1	4.7	4.1	3.9	6.6	6.2	5.6	7.0	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	103.2	98.0	97.0	95.2	96.9	93.9	98.0	98.6	97.3	98.2	103.7	97.9	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	0.8	-3.7	-0.4	-0.9	0.5	-2.1	3.2	0.1	-0.7	-0.2	5.5	-4.4	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	105.7	105.2	108.4	110.6	110.7	112.6	111.8	111.3	112.4	111.7	111.2	113.0	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	1.1	-0.1	1.9	1.3	0.5	0.9	-0.4	-0.1	1.1	-0.1	-0.4	1.1	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	0.8	0.3	0.8	2.4	2.2	0.2	0.6	1.3	2.0	2.4	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	0.6	0.1	0.6	2.3	2.2	0.1	0.5	1.1	1.8	2.6	0.2	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.3	0.4	0.2	0.6	1.9	0.6	0.4	-0.1	-0.2	0.9	0.6	0.1	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.1	4.2	4.1	4.4	4.6	4.0	4.2	4.1	3.8	3.7	4.0	3.8	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.4	4.3	4.0	4.2	4.7	4.0	4.1	4.3	3.6	3.4	4.2	4.0	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.61	1.55	1.55	1.60	1.57	1.57	1.58	1.60	1.60	1.68	1.72	1.58	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.64	1.64	1.64	1.65	1.66	1.65	1.68	1.69	1.69	1.77	1.77	1.63	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.00	1.00	1.02	1.02	1.03	1.03	1.02	1.02	1.04	1.06	1.06	1.06	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.07	1.08	1.09	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.12	1.14	1.14	1.15	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-112.4	-10.7	-26.2	-22.5	-63.1	44.4	-65.6	2.3	-21.9	51.1	-75.8	-36.2	203.2
[関西]輸出(10億円)	1351.7	1312.7	1231.3	1288.9	1310.8	1273.6	1348.5	1425.3	1322.6	1500.8	1304.8	1242.5	1459.2
[関西]輸出(前年同月比%)	3.1	8.6	1.2	1.5	5.5	1.3	7.5	11.0	6.5	14.7	20.0	2.5	8.0
[関西]輸入(10億円)	1464.0	1323.4	1257.4	1311.4	1373.9	1229.1	1414.1	1423.0	1345.0	1449.6	1380.5	1278.8	1256.0
[関西]輸入(前年同月比%)	20.2	2.8	-0.2	13.9	0.6	-1.7	9.7	1.9	-0.2	4.6	-10.9	10.2	-14.2

注1：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
30-Mar	31-Mar	1-Apr 中国製造業 PMI (3 月)	2-Apr	3-Apr 毎月勤労統計 (2 月:速報値)
6-Apr	7-Apr	8-Apr 景気ウォッチャー調査 (3 月)	9-Apr 近畿鉱工業生産指数 (1 月速報)	10-Apr 近畿貿易統計 (1 月確報) 近畿貿易統計 (2 月確速)
13-Apr 商業動態調査 (2 月:確報値) 中国輸出入 (3 月: 速報値)	14-Apr	15-Apr 公共工事前払保証額 統計(3 月) 全国鉱工業生産指数 (2 月:確報値) 中国工業生産(3 月) 中国固定資産投資 (3 月) 中国消費小売総額 (3 月)	16-Apr 1-3 月期中国 GDP マンション契約率 (3 月)	17-Apr 消費動向調査(3 月) 建設総合統計(2 月) 毎月勤労統計 (2 月:確報値) 1-3 月期中国 求人倍率
20-Apr	21-Apr	22-Apr 全国貿易統計 (3 月:速報)	23-Apr	24-Apr 商業動態調査 (2 月:速報値) 近畿鉱工業生産指数 (2 月確報)
27-Apr 近畿貿易統計 (3 月速報)	28-Apr 全国貿易統計 (3 月:確速)	29-Apr	30-Apr 全国鉱工業生産指数 (3 月:速報値) 新設住宅着工(3 月)	1-May 求人倍率(3 月) 完全失業率(3 月)